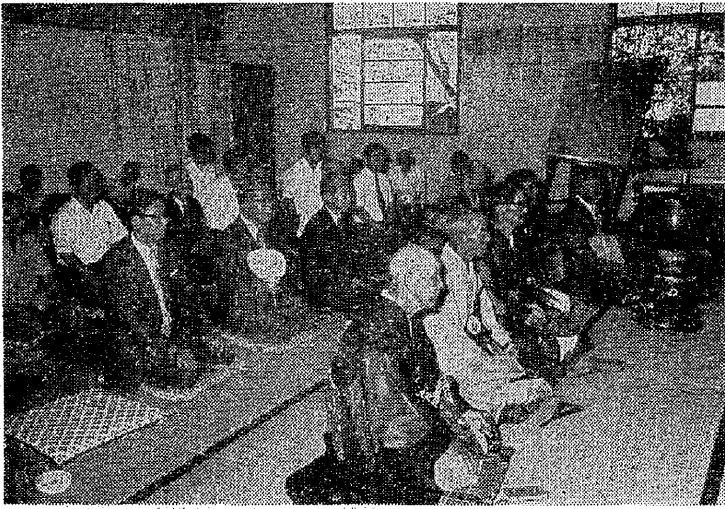




死没囚人労働者の霊を慰める法要

墓地の保存に尽す

死没囚人労働者法要で誓う

大牟田囚人 三池炭鉱の生産の場に囚人労働者が投入されたのは、今をさかのぼる百年以上も前の、明治(長)は、この六十年のことだ。民営化された第八回死没囚人労働者法要で誓う。それがあつた。三池炭鉱の囚人労働者だけでも三千人を上回る巨大な労働力を形づくっていた。

それは官営から、三井経営(三井が明治二十一年に、落札)に移って以後のことだが、ひと頃は三池炭鉱の総労働者数のなな七〇%も囚人労働者が占めたほどである。まさしく、囚人労働者こそ資本の原始的蓄積期の中心労働力で、その力で三池炭鉱発展の基礎が固まった。

三池炭鉱の合併(熊本大学工学部外にある)に刻まれた合葬者数だけでも二千四百六十八体、このほかに三池炭鉱、佐賀各県の物故囚人労働者があることを思えば、実におびただしい囚人労働者の血が、大牟田の地で流されたことになる。そのほとんどが、三池炭鉱発展のかけで消えていった。折っている空が目をひいた。

ゴミノヒドシテ

メガミエン

じん肺 知っての怠慢 防止

三池炭鉱では、相変らずじん肺多発の危険性がうきうき。なかでも本格炭採掘は、じんの有明炭鉱など、じん肺の危険性が「このままでは殺される」との悲鳴を聞く。

今三池ではじん肺疾患の危険性、増大が問題化して、各職場新聞が共通して警告を出しつづけている。

「三池ではじん肺疾患の危険性、増大が問題化して、各職場新聞が共通して警告を出しつづけている。」

「三池ではじん肺疾患の危険性、増大が問題化して、各職場新聞が共通して警告を出しつづけている。」

「三池ではじん肺疾患の危険性、増大が問題化して、各職場新聞が共通して警告を出しつづけている。」

「今日はどのくらいゴミば吸ったかなー 停年前にヨィヨィかなー」

宮浦指導部電気分会の新聞「交流」から

意志受けついで団結

故分会長の初盆で涙の誓い

昨年の十二月八日、会社の保安無視・生産第一主義のため、四山鉱で、仕練上の野口政則さん(35歳、新労組員)が死亡するという災害が起きました。

三池労組はその責任追及と抗議のため、ストに突入しました。

その前日、私たちの港務指導部一分会の職場では、三池労組のストライキに食いつく作戦計画を組んだ職員に対し、故松分会長はそのことに抗議するともに、作業計画の変更を迫りました。

その抗議中いく度か気分が悪くなり、舌がもつれたにもかかわらずがんばり抜き、会議室を出、自分の脱衣箱の前で座り込むように倒れ、そのまま意識不明となり、

で初盆をとり組むことになりました。十三日までに精霊船を造り、かきつけをすまして故人の家に、十五日は夜九時三十分より故人の遺影と精霊船を抱いて、地域の家族全員が集まって待つ間、

争本部にまいりました。二日後の十一日には帰る人となり。みなで、提灯やおそなえもの、飾られた精霊船と遺影におまいりました。

満潮となる夜中の十二時に、故松分会長のご家族や親戚、地域の組合人、えきて胸をしめつけてなませ

静かに流したのです。親戚の人から、こんな言葉を聞きました。

「信夫(故人の名前)は、三池労組のことばかりいっていましたが、いつも何はいうやうかぐういに思っていました。でも信夫が倒れてからの見舞い、看護、葬儀について、こんどの初盆の供養まで當んでいただき、頭が下がりました。初めて、信夫がいていた三池の意味がわかりました」

私たちの新港務地域分会は、八月二十九日定期総会を開き、故松分会長の遺志をついで団結の輪を強めてゆく覚悟を固めています。

大石昇・記

私に三池の仲間

和歌山 桂田京司

まだまだ暑い毎日が続いており、三池の皆さんが元気な様子でしょうか。

いつも、新聞「みいけ」を読むのが何となく楽しみです。三池にまなび集会ではじめて、三池労組と主婦会の方々と交流できたことが、私の支えになってきました。今や「あたらしい社会」のために、あたらしいこと(活動)をする」ということが、少ずつわかってまいりました。

集会の時は、まだ独身でした。その翌年に結婚し、妻は第二回の三池にまなび集会に参加させていただきました。当時一歳の娘は三歳になり、今夏に長男が生まれました。

青年部役員になったのメチャクチャな、自称活動家だったわたしも、父親になつてしまいましたが、ほんとうに、アツという間です。これから、学んでいかなければ、と思います。妻も、「これからが私のがんばりのみせどころ」と意気かかっています。

私のほうが、日和っているように、でも、一生この道を歩いていくしかないですからね。

とを決心、くり返しくり返し決意を新たにしていきたいと思っています。それが、私の「三池」なのです。

多くの仲間が支えがあるので、私たちが家族も安心して頑張ります。

こんごともよろしく願いいたします。

×

なほ桂田さんの奥さんのお名前を、組合員・主婦会員の皆さん、寄せられてくるお便りを紹介したいと思います。

家庭生活をどう築くか 富山 古道 吉男